## リサイクル阻害要因説明書(当初・変更) 目標値に達しない場合に作成し、設計書に添付

別添4

発注機関名	工	事	名	
施工場所	工		期	
工事概要				

I. 建設資材利用計画·実績(再生資源利用率)

[ ]内:目標値、( )内:達成値 再生資源利用率の目標値を達成できな い理由	± [ (	砂 %] %)	※ 砕 [ (	石 %] %)	* 7277 [ (	ル混合物 %] %)
再生材の供給場所がない						
再生材の規格が使用に適合しない						
その他 (下の括弧内に記入)						

7	$\mathcal{O}$	舳
Ų.,	v /	11117

- Ⅱ. 建設副産物搬出計画・実績(「再資源化率」及び「再資源化・縮減率」)
  - 1. 建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊

[]内:目標値、()内:達成値	建設発生土 (再資源化率)	コンクリート塊 (再資源化率)	アスファルト・コンクリート塊 (再資源化率)
目標値を達成できない理由	[ %]	[ %]	[ %]
他に再利用できる現場がない			
再利用できる現場の要求する規格に適合しない			
有害物質が混入している			
再資源化施設がない			
その他 (下の括弧内に記入)			

~	-		
	11	ハイレ	n
-	w.	711	IJ.

### 2. 建設汚泥、建設発生木材、建設混合廃棄物

[]內:目標値、()內:達成値	建 設 汚 泥 (再資源化・縮減率)	建設発生木材(再資源化率)	建設発生木材 (再資源化・縮減率)
目標値を達成できない理由	( %)	( %)	( %)
他に再利用できる現場がない			
再利用できる現場の要求する規格に適合しない			
有害物質が混入している			
再資源化施設がない			
その他 (下の括弧内に記入)			

その他(下の括弧内に記入)		
その他		

- 注1) 当初における「再生資源利用率」及び「再資源化率」、「再資源化・縮減率」の目標値は、 「長崎県建設リサイクル公共工事アクションプログラム」において定める目標値とする。
- 注2) 当初における達成値は、リサイクル計画書(積算段階) <別添3 >の<u>⑤再生資源利用率</u>、 <u>⑪再資源化率等(「再資源化率」及び「再資源化・縮減率」)</u>と同値になることとする。
- 注3) 変更時における目標値は、積算時における達成値(「再生資源利用率」及び「再資源化率」、 「再資源化・縮減率」) とする。
- 注4) それぞれの品目で再生資源利用率、再資源化率及び再資源化・縮減率がそれぞれの目標 値に達しない場合は、該当品目の理由の欄に○印を付ける。

理由の欄に該当するものがない場合には、「その他」の欄に○印を付け、下の括弧内に具体的理由を記述する。

# 記入例

### リサイクル阻害要因説明書(当初・変更) 目標値に達しない場合に作成し、設計書に添付

別添4

発注機関名	〇〇土木事務所	エ	事	名	OOOOT#
施工場所	○○市○○町○○地内	工		期	
工事概要					

I. 建設資材利用計画·実績(再生資源利用率)

[ ]内:目標値、( )内:達成値 再生資源利用率の目標値を達成できな い理由	土 砂 [ OO%] ( OO%)	<ul><li>※ 砕 石</li><li>[ ○○% %]</li><li>( ○○% %)</li></ul>	<ul><li>※ アスファルト混合物</li><li>[ 〇〇%]</li><li>( 〇〇%)</li></ul>
再生材の供給場所がない		0	0
再生材の規格が使用に適合しない	0		
その他 (下の括弧内に記入)			

7	$\mathcal{O}$	1	ŀП
-(	V)	П	114

- Ⅱ.建設副産物搬出計画・実績(「再資源化率」及び「再資源化・縮減率」)
  - 1. 建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊

[ ]内:目標値、( )内:達成値 目標値を達成できない理由	建設発生土 (再資源化率) [ 〇〇%] ( 〇〇%)	コンクリート塊 (再資源化率) [ 〇〇%] ( ○○%)	アスファルト・コンクリート塊 (再資源化率) [ ○○%] ( ○○%)
他に再利用できる現場がない	0		
再利用できる現場の要求する規格に適合しない			0
有害物質が混入している		0	
再資源化施設がない			
その他 (下の括弧内に記入)			

~	~	7.1.	
	// \	<i>i</i>	
-(	(/ )	4111	

### 2. 建設汚泥、建設発生木材、建設混合廃棄物

[]内:目標値、()内:達成値	建設汚泥 (再資源化・縮減率) 「 ○○% ]	建設発生木材 (再資源化率) [ 〇〇%]	建設発生木材 (再資源化・縮減率) 「 ○○% ]
目標値を達成できない理由	( 00%)	( 00%)	( 00%)
他に再利用できる現場がない			0
再利用できる現場の要求する規格に適合しない	0		
有害物質が混入している			
再資源化施設がない		0	
その他 (下の括弧内に記入)			

その他		

- 注1) 当初における「再生資源利用率」及び「再資源化率」、「再資源化・縮減率」の目標値は、 「長崎県建設リサイクル公共工事アクションプログラム」において定める目標値とする。
- 注2) 当初における達成値は、リサイクル計画書(積算段階) <別添3 >の<u>⑤再生資源利用率</u>、 <u>⑪再資源化率等(「再資源化率」及び「再資源化・縮減率」)</u>と同値になることとする。
- 注3) 変更時における目標値は、積算時における達成値(「再生資源利用率」及び「再資源化率」、 「再資源化・縮減率」)とする。
- 注4) それぞれの品目で再生資源利用率、再資源化率及び再資源化・縮減率がそれぞれの目標 値に達しない場合は、該当品目の理由の欄に○印を付ける。

理由の欄に該当するものがない場合には、「その他」の欄に○印を付け、下の括弧内に具体的理由を記述する。